

News Release



株式会社ファーマフーズ

会社名 株式会社ファーマフーズ
代表者名 代表取締役社長 金 武祐
コード番号 2929
上場取引場所 東証マザーズ
本社所在地 京都市西京区御陵大原1番地49
TEL075-394-8600 FAX075-394-0099

各位

「自己免疫疾患の早期原因分子に対する抗体医薬開発」が 大学発の技術シーズ活用プロジェクトに採択されました。

この度、当社の創薬事業「関節リウマチプロジェクト（事業テーマ名：自己免疫疾患の早期原因分子に対する抗体医薬開発）」が、経済産業省の大学発の技術シーズ活用プロジェクト「橋渡し研究事業」に採択されましたので、お知らせいたします。

本採択により開発資金面での支援が行われ、事業化が加速いたします。

当社では、鶏の免疫システムを活用した「ニワトリモノクローナル抗体作製技術」により、癌、免疫疾患等に対する新たな抗体医薬品の創出を進めてきました。

本研究開発では、「横浜市立大学」佐藤衛 教授と「名古屋市立大学」金澤智 学内講師との共同研究により、自己免疫疾患の一つである関節リウマチ（注1）に対する治療用抗体の開発に成功いたしました。

本治療用抗体は、関節リウマチを含む自己免疫疾患の早期原因分子の機能を抑制することにより、根治的な治療に繋がる画期的な治療薬となるものです。

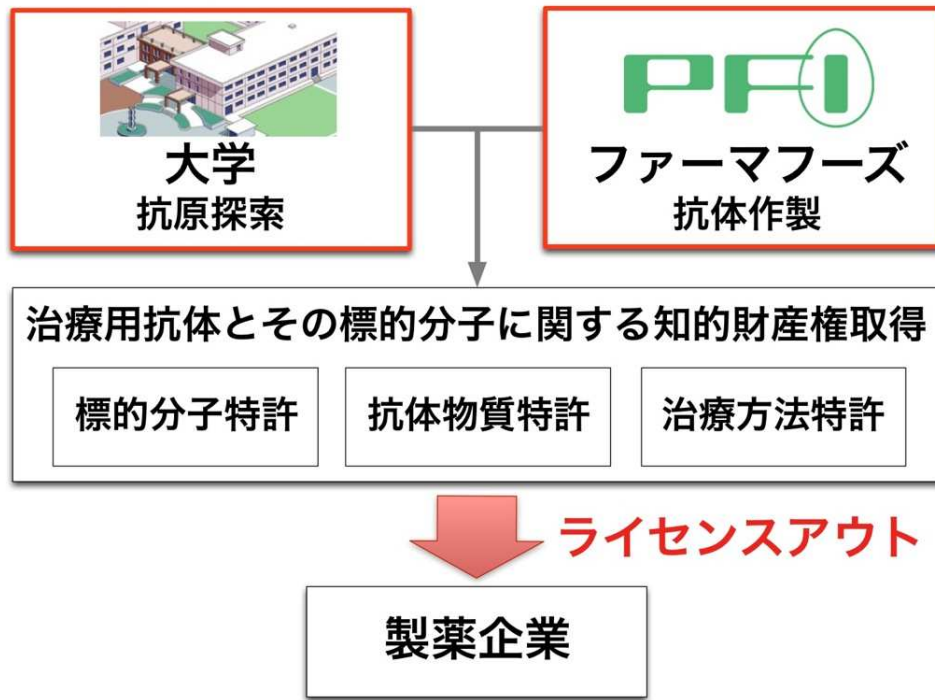
既存薬は炎症性サイトカイン（注2）を主に標的としていますが、本分子は炎症性サイトカインではなく、自己免疫疾患患者において細胞外に流出する分子を標的としているため、極めて副作用が少ないことが期待されます。

以上のことから、本治療用抗体は優れた治療効果と副作用の軽減を両立する画期的な新薬として、製薬企業の強い関心を集めております。

「関節リウマチプロジェクト」の研究開発は2008年より進めており、昨年9月に株式会社広島バイオメディカルを吸収合併し創薬事業への本格展開を開始したことに伴い、大きく進展いたしました。現在までに、マウスを用いた動物試験において高い薬効が確認されており、今後はヒト化抗体の有効性、安全性データの取得へと進めてまいります。

当社では今期中に製薬企業との共同開発契約の締結を目指しております。また共同開発を完了した後は、本事業のライセンスアウトを行い、マイルストーン収入を含む総額100億円以上の収益を見込んでおります。

【事業スキーム】



【事業スケジュール】



【補助事業の概要】

所管：経済産業省

事業名：平成 26 年度「橋渡し研究事業」

事業テーマ名：「自己免疫疾患の早期原因分子に対する抗体医薬開発」

事業期間：2 年間

総事業費：6 千万円

(注 1) 関節リウマチ：

自己の免疫が手足の関節を侵し、関節痛、関節の変形が生じる炎症性自己免疫疾患。発症早期に急速な関節の破壊が生じる。

(注 2) 炎症性サイトカイン：

サイトカインは免疫系の細胞等から分泌されて、免疫応答の制御、抗腫瘍作用、抗ウイルス作用、細胞増殖や分化の調節等を担うタンパク質。